

# 時事新報

時事新報は一年三百六十五日一日も休刊無し

第二千八百五十六號  
明治廿三年十二月二日 火曜  
舊曆庚寅十月廿一日 (丁口)  
日出子前三時二十六分  
入午後三時二十六分  
月入午前十一時零八分  
満午前八時三十九分  
平午後八時五十九分

時事新報の社説  
國會の前途

國會日出度開設したれども其前途の安否如何は世人の  
甚に關心する所にして殊に外國人の如きは此一舉の首  
尾不善尾を以て我國の輕重をトせんとする者さへある  
此時に當り時事新報は國會の前途と題し我國會は明治  
二十三年に開くと雖も其素因は遠く數百年前特に徳川  
政府治世の時に胚胎し維新の初に發育して今日に成長  
したものにて前途の望藍滿なりとの次第を歷史に照  
らし事實に載し丁寧反覆論說して數日間の社説と乞ム可し  
十二月初旬より紙上に掲載して讀者の高評乞ム可し  
時事新報記者  
時事新報定價

第二一千八百五十六號  
明治廿三年十二月二日 火曜日  
舊曆庚寅十月廿一日 (丁巳)  
日出子前三時三十四分  
月入午後四時二十六分  
南漸午前八時三十九分  
日出子後九時二十八分  
(西曆一千八百九十年)

さ體裁を醜くして又縦覧人に不便と與る上に據て開會の時に至れば我が出品人の實本に乏しき懇意には博覽會の出品も之を以本として後日の商賣を謀るに非ずして直に其出品を賣らんとするの工風に急なるより開會を賣止むを得ずして安りに投賣を始め永く貿易品の相場を崩すに至るとは亦是非もなき次第といふべし凡そ此等の故障を認めたるにや裏に政府は萬國博覽會の出品を總て同一人に委託するなど定め聊々以て弊を救ふに近かりしかども此委託者を撰定するには政府は一會社若くは一個人をして受託せん事を出願せしめ其係省中より政府の見込を以て然るべき者に委託するふと

明治二十四年一月一日ヨリ三月三十一日迄輸入從價税品元價ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣日本銀貨比較表左ノ通之ヲ定ム  
但外國銀貨ト日本銀貨トノ比較ヘ從前ノ通  
明治二十三年十二月一日 大藏大臣伯爵松方正義  
外國貨幣日本銀貨比較表

時事新報廣告料前金		一月五號迄字廿四字估		一日限		二日以上	
一	行	二	付	十二	錢	十一	錢

各地方より時事新報の注文に付  
時事新報社は注文に挂するも代價を受取らざる間は遞  
送せざる定めあるに新規注文の方には往々代價を添へ  
申して唯だ注文のみの書面に止り本社は更に代價請求  
の届書を發し代金を受取るまで遞送を差控へ居り候事  
にて賣方の不便されば御注文の筋は必ず代價を添へて  
御申込候下度矣  
代價を受取つたる時は直ちに新報を遞送し其帶封名宛  
の傍に毎月何日と記入致し候はれば右の月日まで新報  
の代價遞送料共相済候證に付別に受取書は不差出候左  
據御承知可候下候

月曜日并に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り  
時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月  
前金八錢にして地方に郵送する分は此外に郵便の實費  
を申受け可し

されば被托者は陳列出品の賣捌に多少の利益あると見  
込み忽ち被托出願者の競争を生じて延いて種々情實の  
弊を來たすふどもあり又その情實の如何に拘はらず政  
府より人撰したる其人に大切な品物を託して如何な  
る手違を爲さんも測り難しへて自然に出品人の勇氣を  
沮喪するふどあしとも限る可らず現に昨年の佛國大博  
覽會にも總代人と出品人との間に思はしからざる事情  
ありて今尚ほ捺明さるよし是等の様子を見ても出品  
托の法は完全なるものと云ふ可らざるが如し左れば今  
より早く相當の方法を講して出品人の安心を儲むるに  
非ざるよりは折角の米國大博覽會も或は世間の希望を  
空ふするふとなかる可きやと我輩の痛に懸念する所あ  
り

萬國博覽會出品の方法

新報事

總務課也、納の博覽會を始んどして其他淡洲メルボルン  
府に米國財府に佛京巴里に大博覽會開設の機會を利じ  
て我が商品を陳出し之に由りて公衆の嗜好を惹き之に  
由りて販路を擴張したる効能は實易の實際に現ばれ  
て決して少すしとせず將來もます／＼便路を求めて日  
本產物の商界に普及せんみとみそ願はしければ来る明  
治二十六年米國に於て開設すべく萬國大博覽會にも成  
るべく出品者を募集して又その成功の大あらんみと被  
選されたに當む所あれども從來の實迹を見れば其出品の  
方法未だ宣しきを悉なゝものゝ如くにして爲めに最  
多の懸念あるを免れさりと蓋し政府にては博覽會の出  
品を募取せんが爲めに選送料、その他の費用を保護せし  
幸されば其餘は出品者の陳述に任せて取て聞くを要せ  
方をかくなれども結果を以ひ／＼の出品にては品物の  
種類を問はずに或は過不及を來たし或は複雜して性や構を  
確かのみかんと陳列するにても同種類の物品にてありま  
ずの處所に一冊、該所に一冊所々に散在して陳列を終

されば被托者は陳列出品の實利に多少の利益あると見  
込み忽ち被托出願者の競争を生じて延いて種々情實の  
弊を來たすふどもあり又その情實の如何に拘はらず政  
府より人選したる其人に大切な品物を托して如何な  
手達を爲さんも測り難しどて自然に出品人の勇氣を  
沮喪するふどあしとも限る可らず現に昨年の佛國大博  
覽會にも總代人と出品人との間に思はしからざる事情  
ありて今尚ほ培養するよし是等の様子を見ても出品應  
托の法は完全なるものと云ふ可らざるが如し左れば今  
より早く相當の方法を講して出品人の安心を能むるに  
非ざるよりは折角の米國大博覽會も或は世間の希望を  
空ふするふとかる可きやと我輩の新に懸念する所あ  
り